

新 春 を 迎 え て



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃は、NOSA I の事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、8月に入りましてから、相次ぐ台風の襲来と前線の影響で、丹波市や淡路地域をはじめ全国各地を断続的に集中豪雨が襲い、大規模な土砂災害が発生しました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を祈っております。

さて、昨年末の総選挙では与党が大勝したことから、基本的にはこれまでの政策方針が継続されるものと思われまます。その中で、政府が最重視する成長戦略の一環であり、かつ、農政改革のグランドデザインとして、「農林水産業・地域の活力創造プラン」があります。このプランの中に、担い手の育成・確保策の一つとして、「収入保険制度」の導入に向けた調査・検討が盛り込まれています。昨年、NOSA I 全国はこの調査事業を農林水産省から受託し、現在、模擬加入などの事業化調査を進めているところです。早ければ平成29年に法案提出が予定されております。また、NOSA I 制度については、収入保険制度との関係調整が求められており、農業環境の変化に対応して、その機能の拡充・強化を図っていかねばなりません。

さて、本会に受けておりました必要措置命令に基づく取組状況の報告義務が、昨年5月に解除されました。NOSA I の事業運営は、皆様の信頼とご理解のうえに成り立っているものであります。そのためにもコンプライアンス意識を事業運営に定着させ、常に確認と検証を怠らないことが重要だと考えます。本会では、「業務運営管理方針」を定め、引き続きガバナンス及びコンプライアンス態勢の充実を図り、業務運営の更なる改善に努めてまいりまますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

いよいよ、これから建物共済の契約更新期を迎えますが、NOSA I 事業の健全な発展と本年度の事業推進計画の達成に向けて、格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

兵庫県農業共済組合連合会
会長理事 鷺尾 弘志